

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	鍼灸基礎実技Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	5階実技室
担当教員	鈴木次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①骨・筋指標の確認(解剖学の復習・経絡経穴実技の予習) ②骨・筋指標を基にした人体への安全で正確な施術 ③特殊鍼法・灸法						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験(実技試験) 80% 2. 中間試験(実技試験) 20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
鍼具・灸具、プリント 東洋療法学校協会編:解剖学 第2版. 医歯薬出版、東洋療法学校協会編:新版 経絡経穴概論 第2版. 医歯薬出版 ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店 はりきゅう理論3版/医道の日本						
《授業外における学習方法》						
前期の鍼灸基礎実技Ⅰの資料確認、解剖学Ⅰ(骨・筋)の資料確認、経絡経穴学の教科書・資料を確認し授業にのぞむ						
《履修に当たっての留意点》						
本格的な人体施述に入っていきます。筋骨格系へのアプローチを中心に授業は展開していきます。すでに学んだ知識を復習するとともに、正確にその場に鍼を打つ、灸をすえる技術を身につけましょう。人の身体に鍼を刺す、灸をすえる本当の意味を考え、真面目に授業に取り組んでください。特殊鍼法(鍼通電・灸頭鍼・皮内鍼・円皮鍼)を用いてできる治療方法について学びます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	正確に腰背部の体表指標の確認・触知が実践できる	プリント	腰背部の骨と筋の確認	
		各コマにおける授業予定	腰背部の体表指標			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰背部への安全な施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	腰背部の骨と筋の確認	
		各コマにおける授業予定	腰背部への安全な施術			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	正確に上肢の体表指標の確認・触知が実践できる	プリント	上肢の骨と筋の確認	
		各コマにおける授業予定	上肢の体表指標			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	上肢への安全な施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	上肢の骨と筋の確認	
		各コマにおける授業予定	上肢への安全な施術			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	正確に下肢の体表指標の確認・触知が実践できる	プリント	下肢の骨と筋の確認	
		各コマにおける授業予定	下肢の体表指標			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	下肢への安全な施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	下肢の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	下肢への安全な施術		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	正確に胸腹部・顔面部の体表指標の確認・触知が実践できる	プリント	胸腹部の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	胸腹部・顔面部の体表指標		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	胸腹部・顔面部への安全な施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	胸腹部の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	胸腹部・顔面部への安全な施術		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	正確に胸骨・肋骨の体表指標の確認・触知が実践できる	プリント	胸部の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	胸骨・肋骨の体表指標		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	胸骨・肋骨への安全な施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	胸部の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	胸骨・肋骨への安全な施術		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	正確に三角筋・肩部の体表指標の確認・触知が実践できる	プリント	三角筋および肩周囲の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	三角筋・肩部の体表指標		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	三角筋・肩部への安全な施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	三角筋および肩周囲の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	三角筋・肩部への安全な施術		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	正確に肩甲骨周囲の体表指標の確認・触知が実践できる	プリント	肩甲骨周囲の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	肩甲骨周囲の体表指標		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩甲骨周囲への安全な施術が実践できる	プリント 鍼具・灸具	肩甲骨周囲の骨と筋の確認
		各コマにおける授業予定	肩甲骨周囲への安全な施術		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	全身の体表指標の触知ができる	プリント	前半の資料確認
		各コマにおける授業予定	前半(体表触知) 授業内容の習熟度の確認		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	鍼灸基礎実技Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	5階実技室
担 当 教 員	鈴木次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①骨・筋指標の確認(解剖学の復習・経絡経穴実技の予習) ②骨・筋指標を基にした人体への安全で正確な施術 ③特殊鍼法・灸法						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験(実技試験) 80% 2. 中間試験(実技試験) 20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
鍼具・灸具、プリント 東洋療法学校協会編:解剖学 第2版. 医歯薬出版、東洋療法学校協会編:新版 経絡経穴概論 第2版. 医歯薬出版 ずっと使える! 鍼灸臨床BOOK. 滋慶出版/つちや書店 はりきゅう理論3版/医道の日本						
《授業外における学習方法》						
前期の鍼灸基礎実技Ⅰの資料確認、解剖学Ⅰ(骨・筋)の資料確認、経絡経穴学の教科書・資料を確認し授業にのぞむ						
《履修に当たっての留意点》						
本格的な人体施術に入っていきます。筋骨格系へのアプローチを中心に授業は展開していきます。すでに学んだ知識を復習するとともに、正確にその場に鍼を打つ、灸をすえる技術を身につけましょう。人の身体に鍼を刺す、灸をすえる本当の意味を考え、真面目に授業に取り組んでください。特殊鍼法(鍼通電・灸頭鍼・皮内鍼・円皮鍼)を用いてできる治療方法について学びます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	全身の体表指標の触知ができる	プリント	前半の資料確認	
		各コマにおける授業予定	前半(体表触知) 授業内容の習熟度の確認			
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鍼法①(皮内鍼・円皮鍼・隔物灸)を安全に実践できる	プリント 鍼具・灸具	教科書の該当ページの予習	
		各コマにおける授業予定	体表触知+特殊鍼法①(皮内鍼・円皮鍼・隔物灸)			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鍼法①(皮内鍼・円皮鍼・隔物灸)を安全に実践できる	プリント 鍼具・灸具	教科書の該当ページの予習	
		各コマにおける授業予定	特殊鍼法①(皮内鍼・円皮鍼・隔物灸)			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鍼法②(灸頭鍼・接触鍼)を安全に実践できる	プリント 鍼具・灸具	教科書の該当ページの予習	
		各コマにおける授業予定	体表触知+特殊鍼法②(灸頭鍼・接触鍼)			
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鍼法②(灸頭鍼・接触鍼)を安全に実践できる	プリント 鍼具・灸具	教科書の該当ページの予習	
		各コマにおける授業予定	特殊鍼法②(灸頭鍼)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鋳法(鋳通電)を安全に実践できる	プリント 鋳具・灸具	教科書の該当ページの予習
		各コマにおける授業予定	体表触知+特殊鋳法③(鋳通電Ⅰ)		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鋳法(鋳通電)を安全に実践できる	プリント 鋳具・灸具	教科書の該当ページの予習
		各コマにおける授業予定	特殊鋳法③(鋳通電Ⅰ)		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鋳法(鋳通電)を安全に実践できる	プリント 鋳具・灸具	教科書の該当ページの予習
		各コマにおける授業予定	体表触知+特殊鋳法④(鋳通電Ⅱ)		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鋳法(鋳通電)を安全に実践できる	プリント 鋳具・灸具	教科書の該当ページの予習
		各コマにおける授業予定	特殊鋳法④(鋳通電Ⅱ)		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鋳法⑤(短鋳)を安全に実践できる	プリント 鋳具・灸具	教科書の該当ページの予習
		各コマにおける授業予定	体表触知+特殊鋳法⑤(短鋳)		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	特殊鋳法⑤(短鋳)を安全に実践できる	プリント 鋳具・灸具	教科書の該当ページの予習
		各コマにおける授業予定	特殊鋳法⑤(短鋳)		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	複数の特殊鋳法を安全に正確に実践できる	プリント 鋳具・灸具	後半の授業資料の確認
		各コマにおける授業予定	総合実技		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	複数の特殊鋳法を安全に正確に実践できる	プリント 鋳具・灸具	後半の授業資料の確認
		各コマにおける授業予定	総合実技		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	指示された特殊鋳法を安全に正確に実践できる	プリント 鋳具・灸具	後半の授業資料の確認
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	指示された特殊鋳法を安全に正確に実践できる	プリント 鋳具・灸具	後半の授業資料の確認
		各コマにおける授業予定	まとめ		